

水道管にも冬支度を 水道管・給湯管の凍結に注意しましょう

平成28年1月に福岡を襲った寒波による水道管・給湯器などの凍結において、市内で漏水が多数発生しました。

そこで、このようなことを繰り返さないためにも、市民の皆さんの理解と協力をお願いします。

水道管が凍りやすくなるのは、気温がマイナス4度以下になるときです。

水は凍結すると液体のときより体積が約9%も増えます。そのため、水道管の中で水が凍ると、水が出なくなるだけでなく、水道管が破裂してしまうことがあります。

特に凍りやすい場所は、北側や風

図1

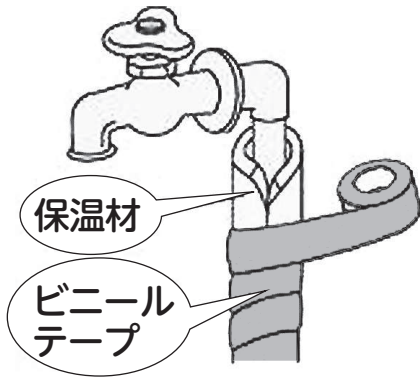


図2

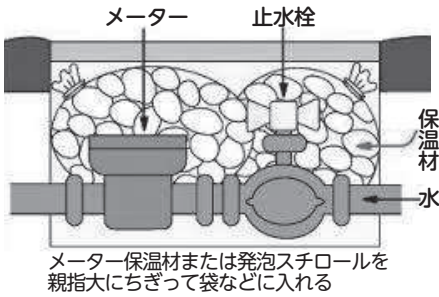


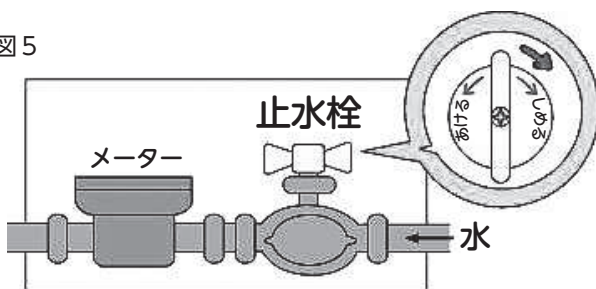
図3



図4



図5



当たりの強い場所で露出している水道管・給湯器などです。

※宅地内の水道管・給湯器などは、個人の所有物であるため、破損してしまつと個人で修理費用を負担しなければなりません。

今からできる！凍結防止対策

◇屋外で露出している水道管および給湯器や水栓は、保温チューブ・発泡スチロール・布・ダンボールなどで覆い、保温しましょう。(図1)

◇メーターボックスの中には、発泡スチロールなどの保温材をいれましょう。(布・新聞紙で

もOK) (図2)

◇老朽化している水道管などは点検・整備しましょう。

◇特に冷え込みが予想されるときは、おやすみ前に浴槽などの蛇口から少しずつ糸引き状に水を出しておくのと凍りにくくなります。

◇給湯器については、種類などによって凍結防止対策が異なる場合がありますので、メーカーに問い合わせるか取扱説明書などを確認しましょう。

もし、凍結してしまつたら

水道管や水栓にタオルや布をかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかけてください。(図3)

※急に熱湯をかけたり、火であぶったりすると、破裂や破損・火災の

原因となりますので、絶対にしないでください。

※水が出なくても蛇口を開けたままにしないでください。解凍したときに、水が出続けます。

もし、漏水してしまつたら

(図4、5)

メーターボックス内にある止水栓を回して水を止めてから、市指定給水装置工事業者(市ホームページを参照)へ修理を依頼してください。

●問い合わせ先

料金施設課給排水設備担当
☎(580)1928
☎(580)1927